

浅口市立六条院小学校令和5年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和5年10月26日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <p>○国語科は、正答率が全国・県平均を上回っている。特に、文章記述の問題で、問題の大枠を捉えることや、自分の考えを書くことがよくできている。</p> <p>○算数科では、図形領域や割合の問題で全国平均を上回っている。</p> <p>○国語・算数ともに無回答率が低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が身に付いていることが分かる。</p> <p><課題></p> <p>▲根気よく長文を読んで理解することや、複数資料の関連付けが難しい。</p> <p>▲算数科では、正答率が30%未満の児童が全体の2割程度おり、基礎学力の定着を図る必要がある。</p>	<p><成果></p> <p>○国語・算数の勉強が好き・大切だと思いと回答した児童の割合が高く、学習に対して意欲的である。</p> <p>○自分で計画を立てて勉強している児童が多く、家庭での学習習慣が身に付いてきている。</p> <p><課題></p> <p>▲自分の考えが伝わるように工夫して話している児童の割合が少ない。</p>

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <p>○国語科・算数科ともに正答率が全国平均を上回っている。</p> <p>○国語科では、文章記述の問題の正答率が高く、条件に合わせて自分の考えを書くことができる。言語についての理解も比較的良い。</p> <p>○算数科では、基本的な四則計算がよくできている。</p> <p><課題></p> <p>▲長文を読んだり、情報が多い問題を読んで理解したりするための読解力に課題がある。</p> <p>▲算数科では、「数と計算」領域の正答率が高いが、式の意味理解が不十分である。</p>	<p><成果></p> <p>○授業の予習・復習をしている、1日に1時間以上家庭学習をしている児童の割合が県平均と比べて高く、学習習慣が身に付いている。</p> <p>○朝食を毎日食べている・睡眠時間が7時間以上であると回答した児童が多く、年間5回のがんばりカードの取組により規則正しい生活習慣が身に付いている。</p> <p><課題></p> <p>▲学級の友達と話し合う活動に苦手意識をもっている児童が多い。</p>

改 善 策

学 校 で の 取 組

①「六小っ子 学習の約束」を基本にした授業づくり

・学習の準備 ・姿勢 ・話の聞き方 ・発表の仕方 ・学習用具など

②国語科・算数科を研究教科とした「主体的に考える力」「協働する力」の育成

・主体的・協働的な学びのために・・・「書いたら伝える・聞いたら返す」の合言葉や児童が使った「つながり言葉」を教室に掲示していく。

・表現力を養うための取組・・・ペア・グループでの話し合いを積極的に授業に取り入れる。

③基礎学力の定着のための取組

・朝自習の時間に各学年で取り組むプリント(国・算)を整え,基礎学力の定着を図る。

・年間5回のがんばりカード・家庭学習の手引きの活用・毎月きらきらノート(自主学習)だよりを発行する。

・読解力を養うため,全校で週末読書に取り組む。音読カードにも明記する。

④児童理解に基づく学級経営の推進

・教育相談による,不安や悩みの早期解消・早期対応を行う。

・icheckの結果分析による児童理解を行う。

あい・かがた学園 での 取 組

○カリキュラム「あい・かがた学」に沿って,中学校区で一貫した指導を行い,基礎学力の定着,学び合い活動の充実を図る。

○「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して,互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。

○各校の授業参観や情報交換の機会を設け,園・小・中学校のスムーズな接続を図る。

家庭・地域へのお願い

○「家庭学習のしおり」「きらきら(自主学習)ノートだより」を活用し,家庭学習の約束を守りながら宿題・自主学習に取り組むよう,励ましをお願いします。

○登下校の様子やあいさつなど,児童の日々の様子で気付かれたことがあれば,ぜひ学校までお知らせください。地域での児童のよい行いも教えてくださいと大変励みになります。